

中小企業タイムズ

12月号
2011年
第661/236号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- 1面 第63回中小企業団体全国大会(愛知県)
- 2面 知事と商工団体との懇談会、各種受賞者
- 6面 中小企業ゴルフコンペ
- 8面 全国中央会55周年式典

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

11月の出来事

- 時事
 - 7日 県内高齢者人口(65歳以上)、初の20万人超え
 - 9日 「幸福度」ランキング山梨14位、法政大学院
 - 11日 TPP交渉参加を表明
- 山梨県中央会ニュース
 - 6日 中小企業ゴルフコンペ
 - 10、17、24日 組合士受験対策講習会
 - 11日 平成23年度組合青年部全国講習会
 - 17日 第63回中小企業団体全国大会
 - 28日 第8回正副会長会議

12月の予定

- 1、2日 組合士受験対策講習会

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

第63回中小企業団体全国大会が開催



あいさつする大村愛知県知事



あいさつする河村名古屋市長



第63回 中小企業団体全国大会

全国中小企業団体中央会 会長
鶴田 欣也

11月17日(木)名古屋国際会議場・センチュリーホール(愛知県名古屋市中)において第63回中小企業団体全国大会が開催された。

『立ち上がり！中小企業を活性化させる』を合い言葉に開催された同大会には全国の中小企業団体代表者約3,000名が参加するとともに、牧野聖修(経済産業副大臣)、牧義夫(厚生労働副大臣)、森本哲生(農林水産大臣政務官)、大村秀章(愛知県知事)、河村たかし(名古屋市長)、田中けいしゅう(民主党副代表)、塩谷立(自由民主党総務会長)等多数の来賓が出席した。

また、本県からも、現地合流を含め総勢47名の組合役員が参加した。本大会は、中小企業が内外で直面する困難な課題を乗り越えるために必

要な事項について国等に訴えるとともに、自らの決意を明らかにするために開催され、今回は「東日本大震災からの復旧・復興の加速化」並びに「円高・空洞化対策と国内立地企業への支援の強化」を具体化するための中小企業対策の拡充に関する11項目についての決議案が採択された。

また、決議案の採択に先立ち、新澤昌英(福島県中央会会長)より、津波・地震被害対策、被災中小企業組合等の復旧・復興支援の拡充と東京電力福島第一原子力発電所事故の早期収束について、また、伊藤豪(愛知県中央会副会長)より、円高・空洞化対策と国内立地企業への支援の強化について、意見発表が行われた。

さらに、本大会の意義を内外に表明するため、後藤久幸(宮城県中央会会長)が、決議事項の早急な実行を求めるとともに、中小企業・中小企業組合が地域社会の絆を再生し、力を組織に結集し、豊かな社会を実現するよう全力を尽くすことを誓うとした『大会宣言』を高らかに宣言し、満場の拍手の下、採択された。

表彰式では、優良組合35組合、組合功労者71名、中央会優秀専従者40名が紹介され、本県からは優良組合として「クリーンネット笛吹協業組合」(藤巻真史理事長)、組合功労者として山梨県味噌醤油工業協同組合の武田與光理事長、中央会優良専従者として労働課窪田学主任がそれぞれその功績を称えられ、受賞の栄に浴した。

なお、次回の第64回中小企業団体全国大会は平成24年10月25日に宮崎県において開催される予定。



優秀専従者
中央会組織開発部労働課
主任 窪田 学



組合功労者
山梨県味噌醤油工業協同組合
理事長 武田 與光



優良組合
クリーンネット笛吹協業組合
理事長 藤巻 真史

知事と商工団体との

懇談会開催



懇談会で意見を述べる内藤会長

10月18日(火)、甲府市「ホテル談露館」において、山梨県知事と商工団体との懇談会が開催された。この懇談会には、山梨県から横内正明知事のほか新津修産業労働部長、堀内久雄観光部次長ら9名が出席、また、商工団体からは山梨県中小企業団体中央会、富士吉田商工会議所、甲府商工会議所、山梨県商工会連合会の4団体から、正副会長及び専務理事等20名が出席した。

懇談会は、開会のあいさつを甲府商工会議所の上原会長が行い、商工団体の出席者紹介がされた後、主催者団体の代表あいさつを幹事団体の富士吉田商工会議所の堀内会長が行った。次に横内知事があいさつを行い、続いて要望書が富士吉田商工会議所堀内会長から横内知事に手渡された。

知事へは、4点の要望事項を提出し、「中小・小規模企業対策の拡充強化」を山梨県商工会連合会の竹井会長が、「農業の6次産業化及び農工商連携支援策の拡充強化」を山梨県中小企業団体中央会の内藤会長が、「リニア中央新幹線開通に向けた新交通システム建設構想推進への支援」を甲府商工会議所の上原会長が、「基幹産業として観光産業の確実な振興」を富士吉田商工会議所の堀内会長が、それぞれの要望内容について説明を行った。

この後、懇談が行われ、席上、横内知事から、中小・小規模企業対策については補助金・指導員の確保を、6次産業化・農工商連携については県の現行のシステムの積み上げを、リニアに向けた新交通システムについては採算の問題があり当面はバスの運行を、観光産業の振興についてはインバウンドの面から海外のインターネットサーバーに入る必要があり、中国はJTBサーバの一部に入れた等の回答がされた。

最後に、閉会のあいさつを山梨県商工会連合会の竹井会長が述べ閉会した。



横内知事に要望書を渡す団体代表

栄誉

秋の叙勲、褒章に組合関係者6人が受章

政府は、11月3日付で平成23年秋の叙勲、褒章受章者を発令した。叙勲は山梨県関係では40人が受章し、旭日中綬章に武田與光氏(山梨県中小企業団体中央会副会長)、山梨県味噌醤油工業協同組合理事長、旭日小綬章に内藤悦次氏(山梨県中小企業団体中央会会長)、山梨県相互振興協同組合理事長、中村昌訓氏(前山梨県中小企業団体中央会副会長、前山梨県トラック事業協同組合理事長)らが受章した。

長、旭日双光賞に天野一氏(山梨県中小企業団体中央会理事、山梨県建設業協同組合理事長)らが受章した。また、褒章は山梨県内では9人が受章し、黄綬褒章に渡辺征夫氏(前山梨県中小企業団体中央会副会長、前都留信用組合理事長)、藍綬褒章に深沢仁氏(山梨県中小企業団体中央会理事、山梨県美容業生活衛生同業組合理事長)らが受章した。

叙勲

旭日中綬章



武田 與光 氏
(山梨県味噌醤油工業協同組合 理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 副会長)

旭日小綬章



中村 昌訓 氏
(前山梨県トラック事業協同組合 理事長)
(前山梨県中小企業団体中央会 副会長)

褒章

黄綬褒章



渡辺 征夫 氏
(前都留信用組合理事長)
(前山梨県中小企業団体中央会 副会長)

藍綬褒章



深沢 仁 氏
(山梨県美容業生活衛生同業組合理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 理事)

旭日小綬章



内藤 悦次 氏
(山梨県相互振興協同組合 理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 会長)

旭日双光賞



天野 一 氏
(山梨県建設業協同組合 理事長)
(山梨県中小企業団体中央会 理事)

県政功績者に 中央会関係者8人が受章

山梨県は、平成23年度の県政功績者55人と1団体が11月15日付で発表された。中央会の組合関係者では8人が表彰された。

望月 幸明氏
(元山梨県知事)
(元山梨県中小企業団体中央会会長)



櫻本 進氏
(社団法人山梨県建設業協同組合理事長)
(元山梨県中小企業団体中央会理事)



志村 武彦氏
(山梨県菓子工業組合理事長)
(山梨県中小企業団体中央会理事)



五味 孝男氏
(山梨県印刷工業組合顧問)
(元山梨県中小企業団体中央会理事)



今村 力男氏
(市川和紙業協同組合理事長)
(山梨県中小企業団体中央会理事)



大宮山 磐氏
(山梨県中小企業労働改善団体連合会会長)
(山梨県中小企業団体中央会理事)



佐藤 孝之氏
(山梨県森林産物生産者協同組合理事長)



渡辺 正氏
(欽明事業協同組合理事)
(山梨県中小企業団体中央会理事)



歴史に残る1年

ibuki

息吹

すでに12月に入り、早いもので今年も1年が過ぎようとしています。

振り返ると今年も、数百年に一度と言われる東日本大震災により、東北地方を中心に甚大な被害が発生し、加えて、原子力発電所の放射能もれ事故により原発の安全神話が崩壊し、輪番停電(計画停電)も実施されました。さらに、円相場は円高が続く中で米ドルに対して史上最高値を記録しました。これらは、日本経済に大きな打撃を与え、とりわけ中小企業の経営に大きな影響をもたらしました。一方、リニア中央新幹線は整備計画が決定しJR東海へ建設指示がされ、サッカー女子ワールドカップでは「なでしこジャパン」が男女を通じて初の優勝と明るい話題もある中で、先行き不透明なTPP問題の発生など、社会経済の歴史に残る事件の多い年であったと思います。

一方、中小企業の経営に大きな影響を与える出来事が重なる中で、数年前から中小企業施策の見直しが行われています。中でも平成22年6月に「中小企業憲章」が閣議決定され、中小企業の連携組織を支援し、力の発揮を増幅するとしています。今回の震災以降、復興に向けて「絆」という言葉を多く聞きます。中小企業組合は、まさに「絆」の組織であり、個々の力を持ち寄り発揮することが期待されます。

幸いにも本県は、2年後にリニア中央新幹線の実験線が全線開通し、営業用車両による試験が開始される予定であり、また、リニア駅の建設候補地の選定が進むなど、新時代の高速輸送鉄道の実現に向けた中心地として、明るい話題を抱えており、県内経済また中小企業組合及び企業の活力の源泉の一つとなることを願っています。

●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

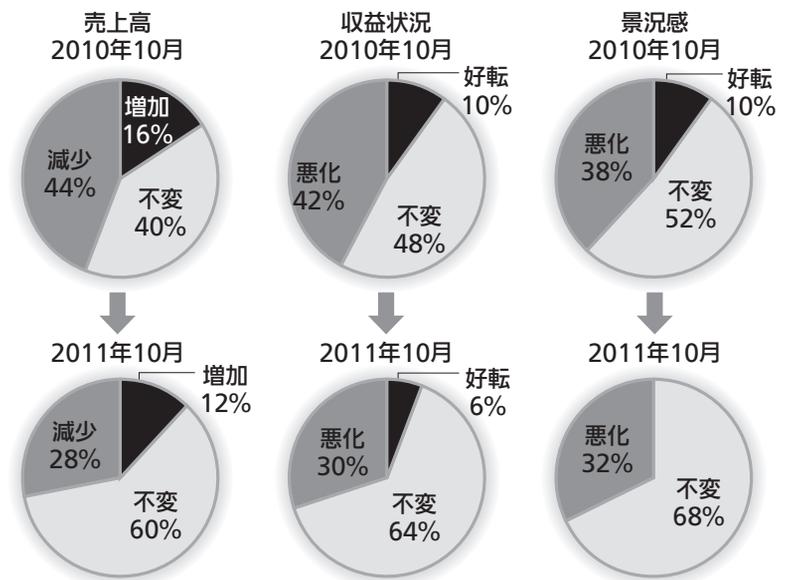
本県の10月の景況は、全業種のDI値が、売上高-16(前年同月比+12)、収益状況-24(前年同月比+8)、景況感-32(前年同月比-4)となった。業種別のDI値では製造業で、売上高-25(前年同月比-5)、収益状況は-25(前年同月比+5)、景況感-30(前年同月比-5)。非製造業で、売上高-10(前年同月比+23)、収益状況-23(前年同月比+10)、景況感-33(前年同月比-3)となった。前月比では、全項目でDIが改善している。

全体の前年同月比は、売上高と収益状況でDI値が改善。景況感で4ポイント悪化。前月比は、売上高でDI値が18ポイント改善、収益状況と景況感も改善している。

業種別で見ると、製造業の前年同月比は収益状況のDI値のみが改善しているが、前月比では全項目において改善が見られた。非製造業の前年同月比では、売上高と収益状況のDI値が改善し、景況感がポイントを下げている。前月比では、製造業と同様全項目でDI値が7~20ポイント改善した。

情報連絡員による県内の10月の業況報告からは、DI値の回復傾向とは逆に、産業全体では、仕事量・受注の減少、単価、価格、稼働率の低下など厳しい状況に変化はなく、加えて年末に向けて円高の影響や消費者の購買意欲の低迷が続いているなど、先行きへの不安感が増している。しかし、一部では売上の増加や、底を脱しつつあるなど明るい報告もある。

データから見た業界の動き(平成23年10月分)



業界の動き

平成23年10月分

データから見た

トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測売上高・原燃料等経費・資金繰りなどについてコメントを求めた。

●業界から一言

●製造業

●食料品(水産物加工)／土産品、グフト関係は横ばいだが、震災以降営業展開してきた西日本での婚礼用食材の新規需要があり、全体売上は増加。

●食料品(洋菓子製造)／国内需要は、自社製品が増加したが、OEMは減少のため横ばい。円高の中にあつて台湾、カナダ向けの輸出が倍増し、全体の売上は増加。

●食料品(ワイン)／原料である葡萄が台風被害や病気等によりワインの製造量、操業度ともに低下している。

●繊維・同製品(織物)／ネクタイ・制服用のポリエステル素材を中心とする機屋は例年並みだが、シルク素材中心の機屋は厳しい。展示会では良い素材のストールには値が高くて引き合いがある。産地のものづくりの方向性は間違っていないが、原材料コストが高く、資金的に厳しい。

●窯業・土石(砂利)／生コン工場への出荷は低調。工事自体は発注があるが生コン使用までには至っていない。年末、年度末に向けて需要はあるが、大幅に伸びることはない。

●窯業・土石(生コン)／リニア工事の需要が全体の25%を占め、組合員間の格差が大きく広がった。また、主要原材料の値上げで、収益は圧迫されているが、員外社との競合で価格に転嫁できない現状。今年は県・市町村の発注額が前年比で20%弱減している。

●卸売(ジュエリー)／例年と比較してクリスマス、年末年始商戦の動きが悪い。様々な要因はあるが、消費者の購買意欲が増えないと好転しない。

●小売(水産物)／9月よりも10月は、景気が悪いながらも多少持ち直した感がある。しかし、長引く不況により組合員には活力がみられない。

●小売(事務機文具)／仕事量の減少が目立つ。

●小売(石油)／平成23年2月1日より改正消防法が施行され、石油販売業者は平成25年1月31日までに地下タンク漏洩防止対策が義務づけられたため、各給油所は厳しい状況の中で改修工事費用の捻出に苦慮している。

●宿泊業／放射能物質の飛散問題がマスコミに取り上げられ、飛散と無関係なラドン温泉まで客足が遠のく施設もある。国による安全宣言を出してもらいたい。

●建設(住宅関連)／新築、リフォームとも引き合い、受注が減少。

●建設業(型枠)／ここ数年で型枠大工が全国で5万人減っている。秋口より公共工事及び民間工事とも物件が増えているが、職人が不足し、単価も安い。そのため受注を断っている仕事もある。

●建設業(鉄構)／依然として厳しい状況にあるが、一部では底を脱しつつあるなど明るい報告もある。

●設備工事(管設備)／公共工事の発注工事数の減少等、厳しい状況が続いている。材料の値上げにより工事、販売価格は上昇しているが、収益に繋がらない。材料の値上げによる赤字ではなく売上高の減少が効いている。

●運輸(タクシー)／昨年に比べ配車台数が1台減だが、売上は昨年並み。

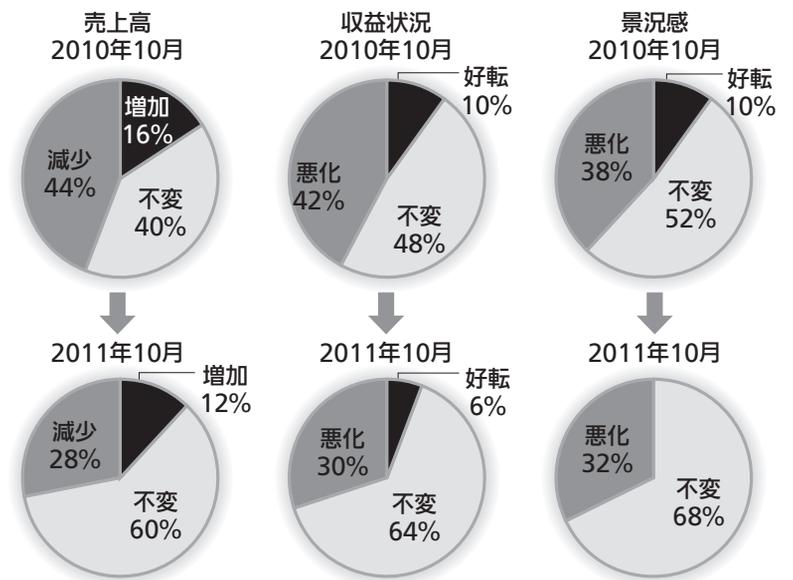
●運輸(バス)／供給過多により価格下落、稼働率低下の状況。しかし、減車が来ず、オフシーズンを迎えるに当たり良い材料が見当たらない状況。

●運輸(トラック)／円高が県内荷主企業に与える影響が懸念される。PPP参加の可否など政府の判断が注目されているが、物流に与える影響が不透明である。

データから見た

平成23年10月分

データから見た業界の動き(平成23年10月分)



業界の声

●山梨県ワイン酒造協同組合 理事長 三澤茂計氏

業界の現況は？

当業界は、現在も続いている円高に大きな影響を受けています。円高により低価格の輸入ワインが首都圏の市場に出てきています。一方、県産ワインの人気は高まりつつありますが、ブドウ栽培農家の生産意欲は逆に低下しています。購入ブドウの買入価格を下げることは、ワイナリーではブドウ農家との契約もあり困難です。そのような中、長引く景気低迷も重なり、消費者がこの低価格ワインへ流れつつあることが危惧されています。

しかし、この低価格ワインの登場は、ワイン愛好家の底辺を広げ、国内のワイン消費量の増加にも繋がる可能性があります。今までワインを飲んだことがない消費者に対して、ワインを飲み始める良いきっかけとなることを期待しています。また、県産ワインの魅力を見つめ直す良い機会だとも思います。あらゆるワインの中でも産地にこだわり光る県産ワインの魅力を見つめ直し、それを消費者にアピールしていくことが重要だと思っています。

今後の展開は？

今後は、海外市場への進出が重要になってくると思います。EU諸国の中では、1人当たりの年間ワイン消費量が日本の20倍以上の国も沢山あります。この大規模な市場に対し、山梨県の主力である「甲州種ブドウ」を中心に、県産ワインの魅力海外に発信していくことが重要です。当業界では国・県・市等と連携し、K.O.J(Kosshu Of Japan)をスタートさせました。K.O.Jでは、日本を代表する「甲州」の品質向上をはかり、世界市場において認知度を向上させ、適切なマーケティングを獲得することを目的としています。既に、世界のワイン情報の70%を発信するロンドンへの輸出が始まっています。今後ともより多くの参加企業がロンドンにあるUKインポーター(海外レストラン等へワインを売り込む者)と契約し、市場拡大に向けて努力していこうと考えています。



甲州種ワイン

第4回西嶋和紙絵手紙展 「人と人との心をつなぐ」

ACTIVE KUMIAI

西嶋和紙工業協同組合



審査員が作品を鑑賞する様子

西嶋和紙工業協同組合(笠井一洋理事長)・西嶋和紙全国絵手紙展実行委員会(笠井義仁委員長)は、第4回西嶋和紙絵手紙展の作品を募集し33点の入選作が決定、10月16日になかとき現代工芸美術館で表彰式を行った。

身延町西嶋は、手漉和紙の産地として歴史を積み重ねてきた。現在では全国有数の書道用紙の産地として書道家に愛用されている。

また、書道用紙以外の和紙の研究開発を進め、卒業証書用紙をはじめ、壁紙や和紙照明等の生活にぬくもりを与えるような和紙作りにも力を注いでいる。

その中で、先達が築いた「書道用紙の里」の名に加え、もう一つ「絵手紙の里」づくりを思いを描き、絵手紙を通じて「人と人との心をつなぐ」を目標に、西嶋和紙絵手紙展を実施してきた。今年で、4回目となるテーマは「日本の心」の他に、東日本大震災の被災地の方々に応援メッセージを届けようと考え、「がんばろう日本」を併せて募集したところ、全国から1,656点が集まり、山梨県美術家協会顧問の齊藤静輝氏を筆頭に同組合員ら13名による審査の結果、「さげもん」と呼ばれる佐賀県佐賀市の大井妙子さんの作品がグランプリに選ばれた。12月からは応募作品中、約300点を、震災を受けた岩手県遠野市の中心市街地活性化センター「とびあ」をはじめ、6ヶ所で巡回展を開催する。



グランプリ「さげもん」

同組合は、全作品を取めた作品「西嶋和紙絵手紙展作品集」を作成し西嶋郵便局を通じて、岩手、宮城、福島3県の郵便局へ約100冊を寄贈し、各郵便局で自由に閲覧してもらう予定。同組合や和紙の里でも作品集の販売している。1冊1,500円。お問い合わせは西嶋和紙工業協同組合、電話0556-42-3234

TOPICS

都留機械金属工業協同組合・谷村織物工業協同組合

第3回都留工業交流展 に出展

ACTIVE KUMIAI



展示会の様子

第3回都留工業交流展(同実行委員会・都留市商工会主催、木村勝幸実行委員長)が11月10日、11日、12日(金・土・日)の3日間、都留市上谷の「びゅあ富士」で開催された。同交流展は、都留市内の企業の高い技術や優れた製品・サービス等を一堂に展示し、出展企業同志のパートナー発掘や新規取引先拡大等、今後のビジネスチャンスの創出と来場者に市内の企業のものづくりの状況を理解してもらおうことを目的に開催され、精密機器製造加工や織物の製造業者など40の企業、団体が出展した。今回は、市内にある山梨県立谷村工業高等学校の生徒による出展も加わり、さらに魅力がアップした。

中央会会員からは2組合が出展した。谷村織物工業協同(高部理事長)は、傘生地を使ったバック、婦人物のジャケット、スカートなど独特の風合いのある開発品の展示を行ったほか、組合員企業の先染め生地による傘や鮮やかなネクタイなどの展示があり、各社は製品の特徴を熱心に説明していた。

都留機械金属工業協同(木村理事長)は水を動力として発電する水車の模型と発光ダイオード(LED)を組み込んだ街路灯を展示したほか、3D加工された樹脂製品や精密部品など組合員の技術力の高さやオリジナルティーにあふれるものづくりへの取り組みなどを展示していた。



水車の模型の展示

歴史的な円高により、大企業の海外進出がますます進展することが予想される中、不断の努力と旺盛な開拓精神により未来を切り拓こうとする各企業の意気込みが伝わる交流展であった。

TOPICS

山梨県塗装協同組合

組合員全社と組合で、 ISO認証を取得

ACTIVE KUMIAI

山梨県塗装協同組合(高野芳造理事長)では、9月に組合員全7社と組合がISO9001(品質マネジメントシステム)とISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得した。(組合はISO14001のみ)近年、業界では、施工業者の環境配慮・環境対応が求められるようになっており、公共工事においてISOの認証取得が有利に働いたり、取引先や元請企業から求められる傾向にある。

このような中、組合ではISOの意義を認め、組合員企業の組織力強化、顧客からの信頼性向上を目的に組合員全社での認証取得への取り組みを決めた。昨年8月の研修会に始まり、6回開催した研修会では、組合員企業の代表者をはじめ後継者、実務担当の役員など多数の参加により、ISOについて理解を深め、晴れて今回の認証取得となった。

ISO取得により、確実な業務の遂行、ミスの再発防止、業務の効率化・標準化、社員のコミュニケーション意識の向上や企業体質の継続的な改善などが見込まれ、また、増加するISO指定入札工事や総合評価制度、経営事項審査での加点などのメリットもある。

今回、認証取得に組合が一体となって取り組むことで、認証までの期間の短縮やコストの低減が図られたのはもちろん、組合員企業の組織力のレベルアップが図られ、組合の求心力の向上につながったことが大きいと思われる。

高野理事長は、「組合全社での認証取得は、組合員の協力が団結なくしてはなしえなかった。このISO認証取得をステップとしてさらなる組合員の経営力向上と組合の発展、ひいては業界の発展の機会とした。また、官公需規格組合の証明を受けている組合として国交省や公団などの工事の受注につなげていきたい。」と話した。組合は今後も信頼される確かな技術に基づいたよりよい品質をもって、組合員が一致団結して活動していく。



組合で取得したISO認証登録証

組合ステッカーを利用した 周知活動

ACTIVE KUMIAI

山梨県石材加工業協同組合



紙灯籠を組み立てる組合員

山梨県石材加工業協同組合(佐藤奨理事長)では、組合の知名度向上などを図るため、組合名が記載されたマグネットシートとステッカーの2種類の広告物を制作し、組合員の事務所や営業車に貼付して組合の周知活動を行っている。

当組合は、昭和30年に墓石や彫刻品などの加工・設置をはじめとする石材加工業者が集まり設立された。設立当時と比べ業界の市場は縮小しており、組合事業も石材・工具等の共同購買や工事の共同受注といった経済事業から、教育研修事業、福利厚生事業などの非経済事業に比重が置かれるようになった。こうした中、今回の広告物の制作は、単に組合の知名度を高めることだけが目的ではなく、組合と組合員との結束力の強化や共同事業の再興などを期待している。

一方、組合活動の一環として奉仕活動も積極的に実施しており、毎年お盆の時期に甲府市荒川の千秋橋付近で開催される甲府仏教会主催の灯籠流しに組合員と青年部が参加し、紙灯籠の組み立てから川流し、翌朝の河川清掃、回収作業への協力や甲府市営つつじが崎公園の清掃活動を行っている。また、毎年恒例の行事として、組合関係者の石材物故者慰霊祭を執り行っている。

石材品等に関する相談・質問につきましては、安心と信頼を提供する組合加盟の石材店をご利用下さい。組合加盟店については、組合ホームページ <http://www.stone.or.jp/index.html> をご覧頂くか、組合事務局 0555-227-1486(5つやさ)までお問い合わせ下さい。



組合名が記載されたステッカー

ハロウィンカボチャで 体験教室を開催

ACTIVE KUMIAI

花関所の郷・南清里フラワーパーク企業組合

北杜市高根町の花関所の郷・南清里フラワーパーク企業組合(長田正彦理事長)では、10月23日に農場の収穫祭の一環として、ハロウィンカボチャのカービング(彫刻)教室を開催し、子供たちを中心に20人以上が、お化けカボチャ作りを楽しんだ。



ハロウィンカボチャづくりを楽しむ子供達

カービング教室では、組合で収穫したカボチャにデザイン画を参考に目や口になる部分に穴を開け、中身を抜いてハロウィンカボチャとして加工、制作者はそれぞれの作品を自宅を持ち帰り、ロウソクを入れてディスプレイを楽しむ。

組合では7年前からハロウィンカボチャのカービング教室を実施してきたが、最近では集客イベントとしても定着し、組合で栽培したハロウィンカボチャを一人でも10個以上買って帰る来場者もあり、今年も100個以上収穫したカボチャが完売した。それ以外にも、一つ100kg近くまで育ったジャンボカボチャも展示され、ハロウィンの雰囲気盛り上げた。

南清里フラワーパークは「道の駅南清里」のリフトカーで登った山の上に位置し、55,000㎡の敷地内に農場、ビニールハウス、広場、体験棟などがある。

道の駅に立ち寄ったついでに野菜や果物などの収穫体験や押し花やピザ作りなどのクラフト体験ができ、平成12年7月のオープン以来11年が経過し、毎年4万人以上が訪れている。それ以外にも、首都圏の小中学生の体験学習なども受け入れており、4~11月の営業期間中は盛況となっている。



が訪れている。それ以外にも、首都圏の小中学生の体験学習なども受け入れており、4~11月の営業期間中は盛況となっている。

車両に共通のプレートで 共同受注作業を

ACTIVE KUMIAI

北杜市環境事業協同組合



共通プレートを設置したパッカー車

北杜市の委託により地域住民が排出する生活系一般廃棄物の収集・運搬業務を共同受注している北杜市環境事業協同組合(篠原充理事長・組合員12社)では、10月から組合員が収集・運搬業務で使用する車両に共通のプレート

をつけ作業を行っている。プレートには北杜市の市章と組合名が入っており組合員が生活系一般廃棄物の収集・運搬業務で使用するパッカー車を中心として56台に設置した。

業務において使用されている車両は、車体の色や企業名が組合員ごとに違い、共通プレートを取り付けることにより、北杜市から委託を受けた組合が収集・運搬業務を行っていることを地域住民に知ってもらうことを目的としている。

共通プレートの設置については、市の生活環境部と1年近くをかけて協議を行いこぎ着けたが、北杜市においても歓迎されている。

篠原理事長は、「生活系一般廃棄物の収集・運搬業務は市からの委託事業であり、組合員には市に代わって行っているのだという自覚と責任のもとに業務にあたってもらいたいと思っている。」「今後も市や地域住民と連携を取りながら、ごみの減量化や収集・運搬業務の効率化に取り組みで行きたい。」と抱負を語ってくれた。



北杜市の市章と組合名が入ったプレート

TOPICS

TOPICS

TOPICS



「やまなしの物産ガイドブック(民・工芸品・酒類編)」が完成！

「広告宣伝事業」としてパンフレットの作成やホームページの開設も行っている。情報の変化に即応した販売チャネルの多様化を進めることも大切な業務である。

これらパブリシティを通して、県内で生産される優れた特産品を主に内外の大型店や小売店、問屋などのバイヤーや消費者に紹介し、県産品の知名度の向上と消費、商取引の拡大をはかることを主たる目的としている。

この事業は平成22年度から23年度にかけて実施。「県産品掘り起こし事業」のなかで情報収集した企業の商品を所属団体と協議のうえ、掲載している。掲載商品は、県内で製造もしくは加工された地場産品に属する商品で、現在市販されているもの。当会事業「生産者商品情報収集」により登録した商品であることとし、1企業1品目とした。

平成22年度においては、主として(1)農林水産産物の加工品(酒類を除く)、(2)県産食材等を使用した飲料など食品を中心に、菓子類、パン、麺類、漬物、味噌・醤油、大豆製品、飲料、果実加工品、煮貝などを生産する95団体・企

業の商品を「食品編」として掲載した。ガイドブックの特徴は、無駄をなくすため、バイヤーなどに必要な商品ファイルだけを提示することができる。また、新商品ファイルの追加ができる加除形式とした(バインダー綴じ形式、単頁独立型、2穴仕様)。

これらガイドブックは、県内の地場産業センターや観光案内所、県外では「富士の国やまなし館」や山梨県東京事務所、大阪事務所などに配置した。貴重な資料のため必要とする企業、個人に対しては会社名、住所等をそれぞれの配置場所へ申告してもらい提供している。これら人々には、追加ファイルを郵送し新たな情報を提供する。

一方、本年度については、(1)非食品(宝飾品、織物、印伝、硯、和紙、民芸品など)(2)食品(酒類、ワイン、清酒、地ビール)などの生産者84団体・企業の商品を掲載して11月に発刊し、配付作業に入る。

なお、このガイドブックは、海外においても利用できるよう、現在その方法について検討中である。

●「やまなしの物産ガイドブック(民・工芸品・酒類編)」が完成！

地場産品の販路開拓や消費の拡大に向けて成果が期待される

11月6日(日)、笛吹市「ウッドストックカントリークラブ」において、中小企業団体の親睦と交流を図るため、第42回中小企業団体親睦ゴルフコンペが開催され、中央会会員をはじめ103名が参加した。

参加者は新ペリア方式による団体戦、個人戦を行い、日頃のゴルフの腕を競い、鋭気を養っていた。

ゴルフコンペ終了後、参加者同士の交流も兼ねた表彰式が開催され、個人戦と団体戦の順位賞の他、ニアピン、ドラゴンなどの特別賞(個人戦)の受賞者にそれぞれ賞品が贈られた。

団体戦では「甲府市管工事協同組合」が優勝し、個人戦でも「長田武彦氏(甲府市管工事協同組合)」が優勝となった。



ナイスショット!!

- 団体戦
 - 優勝 甲府市管工事協同組合
 - 準優勝 都留食糧協同組合
 - 1位 山梨県冷凍空調設備事業協同組合
 - 2位 山梨総合管財事業協同組合
 - 3位 山梨協豊事業協同組合
- 個人戦
 - 優勝 長田 武彦(甲府市管工事協同組合)
 - 準優勝 君島 由則(甲府市管工事協同組合)
 - 1位 福嶋 一明(都留食糧協同組合)
 - 2位 田村 昭(東京海上日動火災保険株式会社)
 - 3位 安藤 秀実(都留食糧協同組合)



団体戦「優勝」甲府市管工事協同組合

第42回 中小企業団体親睦ゴルフコンペを開催

高速道路料金を毎月3万円以上使っている車はありませんか?

山梨県相互振興協同組合の

ETCコーポレートカードでお得な割引を

山梨県相互振興協同組合では、東日本高速道路(株)・中日本高速道路(株)・西日本高速道路(株)の「大口・多頻度割引制度」を行っています。

この割引制度は、通常のETCカードに比べてお得な「車両単位割引」に加えて、組合員の高速道路利用料金をまとめることで、別に「契約単位割引」を上乗せするものです。

山梨県相互振興協同組合の提供する割引率の上乗せは5%と大変お得になっていますので、高速道路の利用金額が月3万円以上を超える方は是非ご利用ください。

カード利用のメリット

相互振興協のETCコーポレートカード	通常のETCカード
◆通勤時間・深夜・早朝などの時間帯割引	◆通勤時間・深夜・装置用などの時間帯割引
◆車両単位割引(台/月あたりの利用料金を割引) 5,001~10,000円までの料金…10%割引 10,001~30,000円までの料金…15%割引 30,001円以上の料金 ……………20%割引	◆マイレージ割引
◆契約単位割引 更に上乗せ5%割引	※通常のETCコーポレートカードは車両単位割引まで ※相互振興協なら更に5%お得!!

情報 BOX

割引額の計算方法

高速国道の大口・多頻度割引額

i) 高速国道の大口・多頻度割引額簡便計算式

高速国道の大口・多頻度割引の割引額は、以下の簡便計算式で算出できます。

●表 車両単位割引の簡便計算式

車両1台ごとの1ヶ月の高速国道の利用額(X)	計算式
5千円までの場合	—
5千円を超え 1万円までの場合	0.10X-500円
1万円を超え 3万円までの場合	0.15X-1,000円
3万円を超える場合	0.20X-2,500円

(端数処理:1円未満切り捨て)

お問い合わせ

山梨県中小企業団体中央会 古屋・保坂
☎055(237)3215

第17回

中小企業 組合まつり開催

日時 平成24年3月4日(日) 午前9時～

場所 **アイメッセ山梨**
(甲府市大津町)



365日。24時間。

トラックは毎日走り続けています。
朝の日も、嵐の日も、昼も夜も。
生活に必要なものを運ぶことのために、今も全国各地を
走っています。
それは、国内貨物輸送の9割以上を担っているという責任がある
から。
私たちは、安全に、確実に荷物を運ぶために、「運輸安全マネ
ジメント」など具体的な安全対策やコンプライアンスの徹底を
行っています。
また、かけがえのない環境を未来に残すため「アイトリングス
トップ運動」や「低公害車の導入促進」などにも積極的に取り組
み、一歩ずつ確かな前進を続けています。
トラックは、私たちの暮らしを支えている大事なライフラインと
して、これからも走り続けます。

トラックが運んで守る
生活(暮らし)と環境

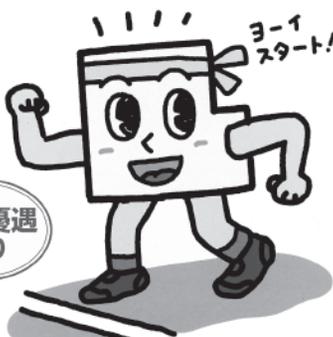
(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行

www.yamanashibank.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート



金利優遇
あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ 0120-201862 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
ただし、銀行休業日は除きます。

▶最低賃金中小企業相談支援事業

セミナーのご案内

生産性は、ヒト(人的資源)・モノ(物的資源)・カネ(資金)・時間の4つに支えられています。生産性を向上させるためには、常にこのことを考えて経営しなければなりません。

そこで、社会保険労務士を講師に招いて、企業からの相談や対応事例などを入れながら、わかりやすくご講演いただきます。

開催日時 平成24年1月26日(木) 13:30～16:00

開催場所 甲府市飯田「中央会 会議室」

テーマ 「不況下における生産性向上策」

講師 ▶ 加藤社会保険労務士事務所 加藤 里美氏

- 【講演内容】
- 助成金を活用した教育訓練の紹介
 - 定年退職者の活用について
 - 変形労働時間制の導入について
 - ビジネスマッチングについて

主催 山梨県中小企業団体中央会

お問い合わせ先 事務局 山梨県中小企業団体中央会 労働課

山梨県甲府市飯田2-2-1

TEL.055-237-3215 FAX.055-237-3216



情報 BOX

「経営革新」してみませんか?

「経営革新」とは、事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ることをいいます。

新事業活動とは、1.新商品の開発又は生産、2.新役務の開発又は提供、3.商品の新たな生産又は販売の方式の導入、4.役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動のことを指します。

中小企業者及び組合等が、単独又は共同で行おうとする経営革新に関する計画(これを「経営革新計画」といいます。)を作成して県に提出し、その内容について「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき承認を受けた場合は、主に次のような支援策を利用することが可能になります。(中小企業庁作成「今すぐやる経営革新」より抜粋)

主な支援策

● 設備投資減税 (中小企業等基盤強化税制)

企業が設備投資を行った場合には、特別償却又は税額控除ができる税制措置があります。その中でも経営革新計画の事業のために取得又は製作した機械・装置(※器具・備品は対象外)については取得価額の7%の税額控除又は取得価格の30%の特別償却を利用することができます。

【ココがポイント】

- ◆ 設備投資を行った場合の税制措置は、通常は、資本金要件等により活用できる制度が限定されますが、経営革新計画承認企業については、資本金要件や業種要件に関係なく、「中小企業等基盤強化税制」の対象になります。ただし、大規模法人の子会社は除かれます。
- ◆ 設備投資を行った場合の税制措置は、この「中小企業等基盤強化税制」の他に、類似の「中小企業投資促進税制」がありますが、これらの税制措置は、いずれかの制度しか適用できませんので、設備投資の内容、業種等を良く考えて選択してください。



2012 第15回

中小企業団体 新春交流会のご案内

開催場所 平成24年 1月12日(木)

16:00~18:00

開催日時 **アピオ甲府**

本館 1F 吉兆の間
中巨摩郡昭和町西条3600

内容 式典▶16:00~16:40
交流会▶16:40~18:00

会費 5,000円

多数のご参加をお待ちしております。

応援します、あなたの企業

「景気対応緊急保証(全国緊急)」

国際的な金融不安等を契機とした現下の厳しい経済状況において、例外業種を除き原則として全ての業種に属する中小企業の皆様の資金繰りを、本制度でサポートします。

「条件変更対応保証」

金融機関からの借入に関する返済条件の見直しを行う際に必要となる資金の保証を行うことにより、中小企業のみならずの返済負担の軽減を図り、金融の円滑化を促すための制度です。

これまで公的金融とお取引のない方でも、信用保証協会による返済負担軽減支援を受けられるようになります。

「流動資産担保融資保証制度(ABL保証制度)」

中小企業者が有する売掛債権及び棚卸資産(流動資産)を担保として保証を行う保証制度です。

山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL.055-235-9700 FAX.055-232-0160
URL:http://www.yiso.or.jp/~shinpo/
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp
富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL.0555-22-0992 FAX.0555-22-0921

創立55周年記念式典

全国中小企業団体中央会



今年で創立55周年を迎えた全国中小企業団体中央会記念式典が、10月27日(木) ANAインターコンチネンタルホテルにおいて開催された。式典では、中央会役員を対象とした功労者に対し表彰状が授与された。

本県の中央会専従職員表彰者は次のとおり。

経済産業大臣表彰：三枝幹夫(事務局次長)、中小企業庁長官表彰：古屋孝明(観光課課長)、三井成志(総務課課長)、堀内修(組織課課長補佐)、臼田あけみ(労働課課長補佐)、保坂淳(観光課係長)、奥水一篤(連携支援課係長)、笠井靖子(連携支援課係長)



経済産業大臣・ 中小企業庁長官表彰 を受賞

中央会専従役員

編集後記

新年を迎えた!!なんて思っていたら、気がつけば今年も残り1ヶ月...早いですね。皆さんにとってどんな1年でしたか?

皆さんは何かやり残したことはありませんか? もう1ヶ月ではなく、まだ1ヶ月...ラストスパートで頑張りましょう!

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216 E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業や新しく事業を 始められる方をはじめとする みなさまの夢の実現、お手伝い。

日本政策金融公庫 国民生活事業は、中小企業をはじめとするみなさまのための政府系金融機関です。

中小企業のみなさまへ

国の事業ローン

新たに事業を始められる方へ

新規開業ローン

お子さまが入学・在学される方へ

国の教育ローン

JFC 日本政策金融公庫

甲府支店 国民生活事業 日本公庫 検索
〒400-0031 甲府市丸の内2丁目26番2号
TEL055-224-5366(お申込み相談)

シニア就業支援プログラム事業

55歳以上で雇用就業・社会参加を希望する高齢者に地域ネットワークと連携して支援します。



まだ55歳
もっと働きたい

シルバー人材
センター連合会
へ登録

企業・事業主

※この事業は(社)山梨県シルバー人材センター連合会が山梨労働局より委託を受けて実施しています。

登録企業・事業主募集中!

55歳以上の人材を求めている企業は(社)山梨県シルバー人材センターに登録して下さい。常用雇用、パート雇用、臨時雇用での人材ニーズがあった場合はハローワークと連携し雇用結びつけます。

(社)山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0355 甲府市飯田3丁目3-28 Tel.055-228-8383